



公益社団法人 兵庫工業会
理事 清水 泰人
(株式会社シミズテック 代表取締役社長)



兵庫工業会 NEWS

平成30年11月号

発行 / 公益社団法人 兵庫工業会

No.287

軌道修正をしながら

■ 巻頭言 ■

昨年度より理事をおおせつかり、お世話になっております株式会社シミズテックの清水と申します。どうぞよろしくお願いたします。

弊社は1931年に清水鉄次郎が神戸製鋼所を退職し、当時の葺合区 脇浜の地で設立した合名会社 清水鉄次郎工作所として創業しました。その後1949年に株式会社 清水鉄工所に改組し、現在の社名に更改したのは1993年です。創業当初は、神戸製鋼所の専属下請け工場として事業を開始すると共に、海軍監督工場の指定を受け兵器製造も行っていましたが空襲により全て焼失しました。戦後 神戸製鋼所の中央研究所からテストピース（試験片）加工の依頼を受けることができ、60年以上にわたり研究開発の試作に用いるあらゆる特殊合金や、新素材を加工する技術を蓄積することができました。

1973年には材料試験センターを新設、自社で製作したテストピースを同センターで引張試験、疲労試験、マイクロ観察等のサービス業務を開始し、テストピースの製造から材料試験までワンストップで迅速な試験結果取得のニーズにお応えできる体制を整えました。

弊社はまた、材料試験と、医療機器製造にそれぞれ特化した数々の資格取得にも挑戦してまいりました。1995年に医療用具製造の許可を受け、足の不自由な人のための大腿骨に挿入する人工骨と、その周辺部品、手術道具など、大手医療メーカーの研究開発に試作段階から参画し、現在でも、一部の部品は同社オリジナル技術として納品しています。

2013年にはISO/IEC 17025という国際試験場認定を取得しました。弊社で実施した試験結果は相互承認に基づき国際基準に順ずる測定方法によるものと証明され、弊社発行の試験成績書には国際規格適合の認定シンボルを付加することができます。

2014年には更に取得が難しいといわれる Nadcapの認証 (Materials Testing) を取得しました。Nadcapとはボーイング、エアバス、ロールスロイス、GE、等の航空機メーカー、及びエンジンメーカー各社が参加し管理するPRIという機関が運営する品質保証及び特殊工程の監査・認証のプログラムです。弊社は、航空宇宙産業が国策として成長することを見込んで、専用の各種試験機を導入し、社員の膨大な労力を費やして4年越しで取得しました。

このように創立から87年間を振り返ってみると、その時代時代の要求に応じて進むべき方向の軌道修正が行われてきたように思われます。清水鉄工所からシミズテックに社名を更改したのも、行っている業務内容が社名と合わなくなってきたからです。

現在、新たな新規業務に取り組んでいます。それは高分子材料及び関連する製品の、各種試験及び技術コンサルタントです。ものづくりの世界では金属に変わる様々な新素材が導入されています。弊社もその流れに対応するため、高分子材料や新素材の試験業務を可能にしていかなければなりません。その分野での第一人者を技術顧問に招いて、もっか拡充中です。

また更に大きな技術革新の波が押し寄せようとしています。それはAIです。

従来の主な試験方法である、実物の製品を切り出して、削り出して、テストピースを製作し、実際に引張ったり疲労させたりする試験方法が将来続くのかどうか想像することは今はまだできません。ただこれからも、時代の本流を見誤らないように急速に進歩する技術を見据えて、柔軟に軌道修正しながら進んでいかなければならないと考えています。

山椒は小粒でもピリッ辛い会社であり続けたいと願うものです。

兵庫工業会西播磨地区・阪神地区 会員情報交換会開催について

兵庫工業会は、地域の要望を踏まえたきめ細かい事業運営を行うために、平成29年度より新たな“会員交流事業”として、兵庫県下を8つに分け、地区ごとに会員の皆様にお集まりいただき兵庫工業会役員（会長・副会長・理事）や行政の方々との意見交換をしていただく、「地区別会員情報交換会」を開催することになりました。

1. 西播磨地区会員情報交換会

(1)開催日 平成30年9月28日(金)

(2)開催場所 かんぼの宿 赤穂(赤穂市)

(3)参加者

- ①西播磨地区会員企業 13名
- ②西播磨地区企業 2名
- ③会員交流委員会企業 3名
- ④行政 兵庫県3名、西播磨県民局1名
- ⑤マスコミ 2名
- ⑥兵庫工業会 大西会長 他

事務局を含め計33名の方々にご参加いただきました。

(4)意見交換会

会員交流委員会の番所副委員長の司会のもと、以下のことが話題になりました。

- ①理系学生見学には、参加していないが興味がある。兵庫県等の行政施策を会社経営にどう取り入れるかも課題と考える。
- ②弊社事業所は相生・赤穂にあり、姫路開催の研修であっても参加し難い。一方で、人材育成は重要と考えているのでデリバリー研修に興味がある。
- ③工業会の管理監督者研修は、過去に私も含め、今年も参加させていただいた。リーダーになる者は、宿泊研修へ参加させることを会社の仕組みとして利用している。現場改善なども受講している。
- ④この地域では、人口減少・事業所減少が非常に大きな課題。就職の合同説明会をしても、学生が集まらない。理系学生の企業見学をこの地域にて開催していただければありがたい。
- ⑤労働力確保が難しい。特に電気系・機械系のエンジニアの再就職でのUターンが全くないのが現状である。

(5)交流会

交流会では、宴会場に場所を移して、和やかな雰囲気の下、更に皆様活発に意見交換いただきました。地元の(株)IHI相生事業所の小沢所長の乾杯ご挨拶で始まり、地元の陰山電機(株)の陰山社長より中締めご挨拶をいただき、盛会の内に終了いたしました。西播磨地区の多くのものづくりに関わる皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。



西播磨地区意見交換会



西播磨地区交流会乾杯ご挨拶



西播磨地区交流会中締めご挨拶

2. 阪神地区会員情報交換会

- (1)開催日 平成30年10月19日(金)
 (2)開催場所 都ホテルニューアルカイツク(尼崎市)

(3)参加者

- ①阪神地区会員企業 20名
 ②阪神地区企業 2名
 ③会員交流委員会企業 3名
 ④行政 兵庫県3名、阪神南県民センター2名、
 阪神北県民局1名
 ⑤マスコミ 1名
 ⑥兵庫工業会 大西会長、村元副会長、金井副会長、馬場副会長 他
 事務局を含め計38名の方々にご参加いただきました。



阪神地区意見交換会

(4)意見交換会

会員交流委員会委員で地元企業である第一熱研(株)中川社長の司会のもと、以下のことが話題になりました。

- ①先の台風により被害にあったが、これまで災害対策やBCPについて深く考えていなかった。中小企業の対策を勉強していきたいし、相談する先を教えてください。
- ②工業会の面白いところは異業種の会社に参加されている点。様々な業界の人と出会えることは良いことと考えている。
- ③働き方改革の中、残業時間の短縮推進に悩んでいる。時間外勤務を極力抑えたいが、労働者は残業代で稼ぎたいという要望があり、なかなか進んでいない。
- ④設計者の人材確保がうまく出来ていないので、良い方法がないかアドバイスいただきたい。電子機器(エレクトロニクス)の教育の場を充実すべく、一段レベルの高い研修を考えてほしい。
- ⑤中小企業はAI・IoT・ロボット化が何なのかが気づいていないため、工業会にAI・IoT・ロボット化への基礎から適用までの話が聞けるようなことを企画してほしい。



阪神地区交流会乾杯ご挨拶

(5)交流会

交流会では、和やかな雰囲気の下、更に皆様活発に意見交換いただきました。地元の音羽電機工業(株)の吉田社長の乾杯ご挨拶で始まり、地元の金井重要工業(株)の金井社長より中締めご挨拶をいただき、盛会の内に終了いたしました。

阪神地区の多くのものづくりに関わるの方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。



阪神地区交流会中締めご挨拶

3. 今後の予定

・東播磨地区会員情報交換会

- (1)開催日 平成30年11月22日(木)
 15:00~19:15
 (2)開催場所 ホテルキャッスルプラザ(明石市)

〈参考〉神戸地区以外の各地区毎の会員企業数

	地区名	会員企業数	市町名
(1)	丹波地区	9社	丹波市、篠山市
(2)	但馬地区	8社	豊岡市、朝来市、養父市、香美町、新温泉町
(3)	北播磨地区	8社	三木市、小野市、加東市、加西市、西脇市、多可町
(4)	阪神地区	40社	西宮市、尼崎市、芦屋市、宝塚市、伊丹市、川西市、三田市、猪名川町
(5)	淡路地区	9社	淡路市、洲本市、南あわじ市
(6)	東播磨地区	50社	明石市、加古川市、高砂市、播磨町、稲美町
(7)	西播磨地区	26社	たつの市、相生市、赤穂市、太子町、上郡町、佐用町、宍粟市
(8)	中播磨地区	48社	姫路市、福崎町、市川町、神河町

(株)メタルアート本社工場 (株)堀場製作所びわこ工場 見学会ご報告

平成30年度 産業・技術振興事業の第1回見学会は、10月25日(木)に行いました。今回の見学会は参加者23名となり、滋賀県の(株)メタルアート本社工場、(株)堀場製作所びわこ工場を見学しました。行程は下表の通りです。

08:00	JR神戸駅南側バス駐車場 集合・出発
10:00~11:35	(株)メタルアート 本社工場 着・見学
12:00	(株)メタルアート 本社工場 発
12:00~14:00	移動~昼食~移動
14:00~15:30	(株)堀場製作所 びわこ工場 着・見学
15:30	(株)堀場製作所 びわこ工場 発
17:30	JR三ノ宮駅着・解散



琵琶湖の眺望 (堀場製作所から)

(株)メタルアート本社工場

創業102年の老舗メーカーで、自動車用精密鍛造部品、建設機械用部品、産業機械用部品、船舶用部品など、様々な製品を生産されています。自動車・建設機械・農業機械向けエンジン部品及び足回り部品、トランスミッションギヤ・その他産業向け部品を中心に、鍛造から機械加工まで、幅広い業種・部品形状に対応していると共に、「鍛造品メーカーから完成品メーカーへ」を目標に一貫体制を目指しています。

工場の中はハンドリングロボットが活躍しており、特に熱間鍛造ラインでは真っ赤に焼けた素材をコンベアに載せたり、プレスされた部品をコンテナに並べている光景を見ることが出来ました。また、作業者のカン・コツ作業のデジタル化を進めたいとの事でした。



溝井執行役員のご挨拶



会社説明を聴く参加者の皆さん



メタルアートでの集合写真

(株)堀場製作所びわこ工場

湖西最大の開発・生産拠点「HORIBA BIWAKO E-HARBOR」は、2016年5月から本格操業を開始。主力の自動車排ガス測定装置などの営業・開発・設計・生産・サービスの一体改革を行い、専門知識とノウハウを蓄積した、コア技術の継承・革新を実現しています。お客様ごとに異なる仕様に対応するため、設計・生産を有機的に融合させ、かつ新生産方式を導入する事で、移転前からリードタイム1/3、生産性2倍を目指す、京滋地区で競争力のある最新の工場です。

職場の中は4Sが行き届いており、作業者の方も整然と仕事をしている状況を見ることが出来ました。福利厚生も整い、特に従業員食堂は9階に作られており、琵琶湖を眺めながらゆっくりと食事ができる環境になっていました。



堀場製作所びわこ工場での集合写真



9階食堂のテラス



会議室での説明

本紙にて見学を受け入れていただいた(株)メタルアート本社工場と(株)堀場製作所びわこ工場の関係者の皆様に
お礼申し上げます。

第36回管理監督者研修 ご報告

9月21日(金)～22日(土)に39名の参加者を迎えて、加古川プラザホテルにて「第36回管理監督者研修」を実施いたしました。今年度はコース構成を見直し、「リーダー・係長クラス」「管理職クラス」の2つの階層別のクラスで行い、参加者一同を前に大西会長より開会挨拶の後、各クラスに分かれて研修が始まりました。



大西会長挨拶

「リーダーに求められるものとは何か？」それぞれのキャリアでスキルアップが求められる事項は様々です。人の管理に必要な知識を習得し、「優秀なリーダー・管理職」として活躍していただくために、今回も2日間にわたり、階層別に区分けして受講者それぞれのキャリアアップに資する内容で実施いたしました。また、管理者に求められる労務管理の知識と労働法を理解し、業務へフィードバックしていただくため、社会保険労務士の小垂講師による「労働環境と労働法制について」の講義もクラス毎に行いました。



リーダー・係長クラス (米増講師)



管理職クラス (清水講師)



管理職クラス (小川講師)



ブレイクタイムカリキュラム (小垂講師)

夕食時の参加者交流会では、他社の方々との情報交換が活発に行われ、異業種交流の場としても有効に活用いただけたようです。

参加者の方々からも、「異業種の方と様々な意見交換ができ、良い刺激をもらった」「業種は違えども同じ悩みがあり、参考になった」「管理職としてのあるべき姿を示していただいたので、できていない部分を見直すことができた」などのお声をいただいております。

来年度も、前年までの実施内容を基に、より良い研修にして参りますので、是非ともご参加いただきますようお願い申し上げます。

※来年度は、同会場にて9月13日(金)～14日(土)開催となる予定です。



参加者交流会の様子

但馬・淡路地区 デリバリー研修 ご報告

兵庫工業会では今年度、但馬・淡路地区でそれぞれデリバリー研修を開催いたしました。以下、その様子を報告いたします。

昨年度両地域で開催いたしました「地区別会員情報交換会」において、研修を受講したくても、開催地が神戸・姫路エリアでは距離的、交通費や時間的にロスが多くなかなか社員を派遣できない、近隣で研修を開催して欲しいとのご要望を受け、今年度に企画した次第です。

但馬地区デリバリー研修

但馬地区での研修は、豊岡市工業会や兵庫ものづくり支援センター但馬との共催事業として、多くの方のご協力を得て、実施させていただきました。

第1弾は8月30日(木)豊岡稽古堂において「生産性向上セミナー ～成長を続ける会社の改善とは～」をテーマに開催し、受講生27名の参加を得ました。

講師には(一社)ダイエツ経営 代表理事 内海 政嘉氏をお迎えし、働き方改革時代に最適な「改善」や効率良く仕事をする術を学び、生産性向上をめざす研修です。

「ムダ」をなくす分析方法、「見える化」した仕事の流れをつくる管理方法といった、組織の一員として生産性を高めるためのポイント等を学んでいただきました。

第2弾は10月25日(木)と11月7日(水)に「ホップ!ステップ!現場改善アプローチ in豊岡」として2回シリーズの研修を実施し、16名の方に受講いただきました。

初回の「5Sの実践 ～5Sの徹底で強い職場体質を作る～」においては、受講者をご自身の職場の整理・整頓ができていない個所を写真撮影したものを持参し、グループ別ディスカッションにおいて、これからの「あるべき姿」への取り組みなどを議論しました。

2回目の「目で見える管理で職場を変える～職場の管理項目を診る看る～」においては「見える化わかるか演習」を通じ、安全対策・作業性の向上に寄与する工場内の表示など、どの職場においても効果の出しやすい事例を通じ、勉強しました。



生産性向上セミナー
(但馬地区デリバリー研修 第1弾)



ホップ!ステップ!現場改善アプローチ
(但馬地区デリバリー研修 第2弾)

淡路地区デリバリー研修

淡路地区においては、「現場改善ツールの基本」をテーマに10月30日(火)と11月13日(火)の2回に渡り開講いたしました。参加者11名が「5Sの基本」「業務の見える化」について学習いたしました。

業務ご多忙の中、参加者が所属する企業の経営者の方も講義を見学にお越しいただくなど、各層、関心度の高い研修内容だったと感じました。

各回とも講義だけでなく、実習・ディスカッション等を行い、非常に活気ある研修となりました。受講生の方の今後の活躍が期待される研修会となりましたこと、ご報告申し上げます。



現場改善ツールの基本
(淡路地区デリバリー研修)

ベトナム総領事館との交流会 ご報告

兵庫工業会の会員交流事業の一環として、ベトナム社会主義共和国総領事館のブ トアン ハイ総領事様ほかの方々をお招きして、「ベトナム総領事館との交流会」を参加者26名にて、10月23日(火)に開催いたしました。

兵庫工業会 会員交流委員会 馬場委員長による開催挨拶の後、ハイ総領事様よりご挨拶をいただき、交流会前半の講演では、「ベトナムとの経営・投資協力展望」について日本語でご紹介いただき、ベトナムの政治情勢や経済情勢などの最新事情を聴かせていただきました。参加された皆様にとって、ベトナムの最新情報を知ることができる有益な内容であったと思います。

交流会後半の懇親会では、村元副会長より乾杯のご発声を、中締めは会員交流委員会 上月副委員長よりいただきました。総領事様と領事様との意見交換や、ベトナムを話題とした会員同士の情報交換等、参加された皆様の懇親を深めることができ、「外国公館との交流会」の会員交流に果たす役割の重要性を改めて感じました。

今後もこのような機会を設けてまいりますので、会員企業の皆様のご参加をお待ちしております。

最後になりますが、ハイ総領事様をはじめベトナム総領事館の皆様には、公務ご多忙にも係らずご出席いただきましたこと、本誌上をもって、改めて、お礼申し上げます。



集合写真



講演と質疑応答

会員交流見学会のご案内

会員交流見学会では、“京都”でこだわりをもった企業と産業遺産を見学します。

また見学会終了後には、会員同士の交流懇親会を企画しております。

是非この機会に、会員同士の交流を含め、生産現場から意見交換会を含めた見学会への、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

見学要領

日 時:平成31年2月1日(金) 13:00~18:30 (懇親会を含む)

場 所:(見学先) 株式会社モリタ製作所

関西電力株式会社 蹴上発電所

※見学先の建築物の修繕と重なった場合は、
見学先が変更となる場合がありますので、予めご了承ください。

定 員:20名(先着順)

お問合せ先:(公社)兵庫工業会(担当:石橋)

Tel:078-361-5667 E-mail:ishibashi@hyogo-ia.or.jp

兵庫工業会女性会 (win-win) 、しんゆう会 合同見学会ご報告

兵庫工業会女性会 (win-win) としんゆう会は、10月12日(金)に参加者10名を得て、竹中大工道具館の見学会を実施いたしました。

2014年10月にリニューアルオープンしたJR新神戸駅のすぐ近くに、日本庭園を有した大工道具館はあります。立派な門構えのとても洗練された建物です。門から館内の入り口の石畳が「真」(正式、格式が高い、規則正しい)を表現し、中に進んでいくと「行」(やや碎けて軟らかな形式になったもの)、「草」(略式…行より省略化され軟らかさを増したもの)と変化をさせております。

この大工道具館は、機械化が進み、昔ながらの大工道具が消えゆく中、先人の残してきた暮らしの知恵を収集・保存・研究し後世に伝えていくことを目的としております。

大工道具と言えば鋸や金槌をまず思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか?鋸は日本では引いて使う、西洋では押して使うことは有名ですが、同じ道具でもどうして使い方が違うのでしょうか?それは、そこに生えている木の硬さによって使い方が変わったと言われております。オークのような硬い木を切るのは西洋式の歯が厚い押し切り、杉などの柔らかい木を切るのには日本式の歯が薄いひき切りが適しているそうです。また、鋸には片刃の物と両刃の物があり、両刃の物は目が粗い方は縦引き(木目に沿って切る)用となっていて、目が細かい方は横引き(木目に対して横に切る)用となっています。

金槌についても、関東と関西で形状が違い釘を打つときに、使い方を替えております。

様々な大工道具の展示、使い方、体験コーナーなどもあり、面白く見学させていただきました。また、木造建築のいたるところに、木造建物の仕口・継手その他接合部分など、部材の形状全般を規および矩によって作り出す規矩術が使われており、古くから木造建築物の技術が確立されていた事が伺い知れます。

女性会のお世話役である 赤城 節子様、中川 裕子様より見学会の感想を頂戴いたしました。

<赤城お世話役の感想>

工業会合同見学会に参加させていただきました。

最近、高層マンションやビルに囲まれ、間をぬって歩いているような世の中になりました。竹中工務店の竹中大工道具館は、しっとりとした趣のある館です。また唐招提寺金堂組物の実物同様の模型などがあり、今後寺院などへのおお客様のご案内には、私自身間違いなく目線が違ってくるでしょう。ものづくりの素晴らしさを聞きながら思い出していたことがあります。数年前にイギリスへ行った時に泊めていただいたマンションが素晴らしい木造でした。わが国の素晴らしさを失わないように、歴史で終わらず現実に期待したいです。心豊かになった1日でした。

ありがとうございました。

<中川お世話役の感想>

この度女性会としんゆう会合同で竹中大工道具館の見学という大変貴重なお時間を頂戴致しました。

その中で一番心打たれましたのは、日本の職人の美意識の高さともものづくりに対する誇り、そして心遣いの息吹きでした。それは各所に散りばめられた大工や左官、瓦師などによる伝統の道具、建具、手仕事やお茶室から、また、唐招提寺金堂組物の実物大模型などから五感奥深くに響いてまいりました。最先端技術、IT化が進んでいる昨今ではありますが、私達の想像を遥かに超えた日本の先人達のあらゆるご苦労の上に私達の今があり、引き継がれていることに心震えます。今私達が忘れかけている何かを気づかせて下さいました。本当に尊い一日となりましたこと、心より感謝申し上げます。



集合写真



大王電機株式会社

所在地：〒664-0831 伊丹市北伊丹9-80-1

T E L : 072-785-7333 F A X : 072-785-7337

U R L : <http://www.daioh-denki.co.jp/>

代表者：代表取締役社長 近藤 輝

この度、弊社では、“『品質』を通して、社会に価値を創造する”という経営ビジョンを定めました。

弊社の事業は、FA向け生産・検査設備を開発・製造する『システム開発事業』、様々な分野・現場で活躍する計測器の精度管理を担う『計測器校正サービス事業』、高品質を求められる自動車向けや産業用向け半導体の検査環境を構築する『半導体テストプログラム事業』の3つがあります。

いずれもお客様の品質に直結する大変重要な役割を担っております。

昨年、創業45周年を迎え、記念誌を刊行しました。社会に、お客様に、そして従業員にとってどのような会社だったかという事を振り返り、上記の経営ビジョンを定めました。

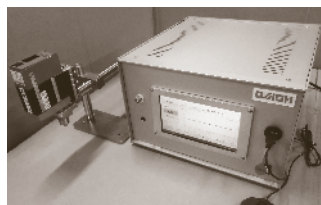
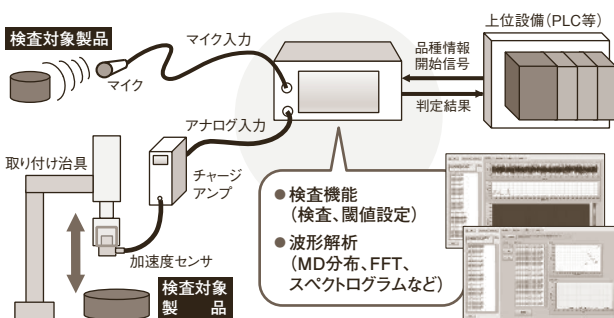
このビジョンをもとに、一層、お役に立てる存在となるべく、邁進して参ります。

製品紹介

弊社では『異音検査装置 (型名DSVI-MA)』を開発、リリースしました。モーター組込システムやモーター単体の検査装置です。その特長ですが、①検査基準 (閾値) の作成に不良品が不要に、②PCレスで、省スペース化・安定稼働を実現、③加速度センサの取付治具をオプションとして準備する事により、導入負担を大幅に削減する事が出来ました。

自動車の電動化が進む中、モーターの需要はますます拡大が見込まれます。自動車用モーターシステムに限らず、メーカーにおいては、異常音・異常振動の検査は現状、人の聴感が主流になっており、後々の不具合となる可能性があります。当社においては、今回の新製品を通じて、メーカーの品質向上および自動化に寄与したいと考えています。

システム構成例



異音検査装置 (型名DSVI-MA)

開発にあたり

実はこの製品プロジェクトは、13年前の2005年に始まりました。リリースした当初は非常に反応も良く、展示会でもたくさんのお客様に興味を持ってもらえました。しかしながら、従来機は数十台ほどを出荷した程度に留まり、採用先もわずかと、広く認知頂いているものではありません。

最も大きな課題は『使い勝手』でした。従来機の閾値設定には不良品が必要であり、さらには、そのワークについての知見を持った『ヒト』に頼る必要がありました。また、技術やコンセプトの評価は高かったのですが、検査環境の立上げまでに時間がかかり、『お試しする』という段階にまで進む事が多くはありませんでした。

そこで、今回の開発では、MT法 (マハラノビス・タグチ法) を使用した判別アルゴリズムを採用することで、不良品の準備を不要とし、ノウハウに頼ることなく容易に閾値設定することが可能になりました。さらには、検査機本体のみで検査と波形解析の機能を実現し、オプションとして加速度センサの取付治具を準備することで容易な検査環境の立上げを可能にしました。

上記の取組みにより、お客様の手間を大幅に省く事が出来ます。

※余談ではありますが、既に複数のお客様でサンプル評価が完了しており、良否判別が可能であることを確認しております。

今回の製品開発を契機に、一層、社会の品質向上のお役に立って参ります。検査・試験を始めとする品質管理は、コスト・時間がかかります。今回の開発がその効率化に貢献する事を願っております。

平成30年度 会員交流懇親会“忘年パーティー”（ご案内）

平素は、(公社)兵庫工業会の諸事業に対しまして、温かいご支援とご協力を賜り、心から御礼を申し上げます。さて、今年も昨年に引き続き会員交流懇親会“忘年パーティー”を開催いたします。会員の皆様に年末のひととき、会員相互の交流を深め、楽しく有益な時間を過ごしていただければ幸いです。是非、多くの皆様にご参加賜りますようお願い申し上げます。

開催要領

日時：平成30年12月4日(火) 16:30～19:30
場所：神戸ポートピアホテル 南館 1F「大輪田の間」
神戸市中央区港島中町6丁目10-1 ☎078 (302) 1111
参加費：13,000円/人

会員動向

代表登録者変更				
企業名	新登録者		旧登録者	変更月
株式会社オカデン	代表取締役社長	谷川 浩二	岡 正弘	平成30年8月
日清テクノス株式会社	代表取締役社長	露口 浩	長谷川 龍雄	平成30年8月
役職変更				
企業名	登録者	新役職名	旧役職名	変更月
ラッキーベル株式会社	有吉 英二	取締役会長	代表取締役社長	平成30年10月
住所変更				
企業名	新住所			変更月
有限会社クレイエンジニアリング	〒651-2242 神戸市西区井吹台東町7-5-3			平成30年8月

イベント情報

月日	事業名・内容	場所
12月4日(火)	会員交流懇親会	神戸ポートピアホテル
12月25日(火)	職域における創意工夫者表彰式	兵庫県公館
2月1日(金)	会員交流見学会	京都 (株)モリタ製作所、関西電力(株) 蹴上発電所
2月21日(木)	合同委員会	有馬 古泉閣
3月12日(火)	平成30年度第3回理事会	ホテル北野プラザ六甲荘

冬期休業の お知らせ

本会では、誠に勝手ながら平成30年12月29日(土)～平成31年1月6日(日)まで、冬期休業といたします。(平成31年1月7日(月)より通常業務)。この間何かとご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人
兵庫工業会

本部
神戸事務所

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター3階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

姫路事務所

〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる3階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231